資料１

教育再生の実現に向けて

文部科学大臣　　下 村 博 文

平成26年3月28日

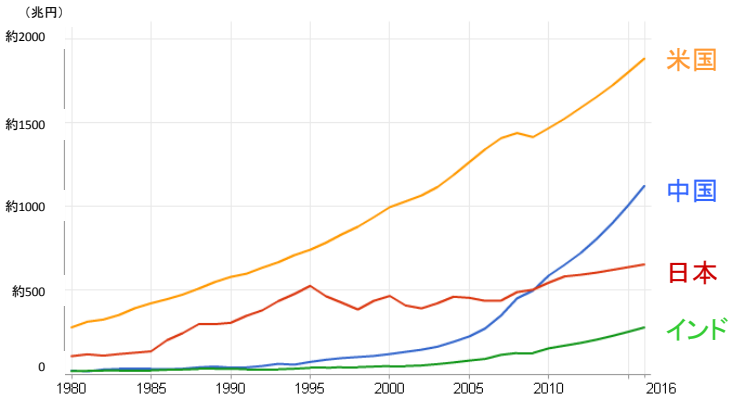
文部科学省

我が国の危機的状況

グローバル化の進展

我が国の国際的な存在感の低下

●名目GDPの推移

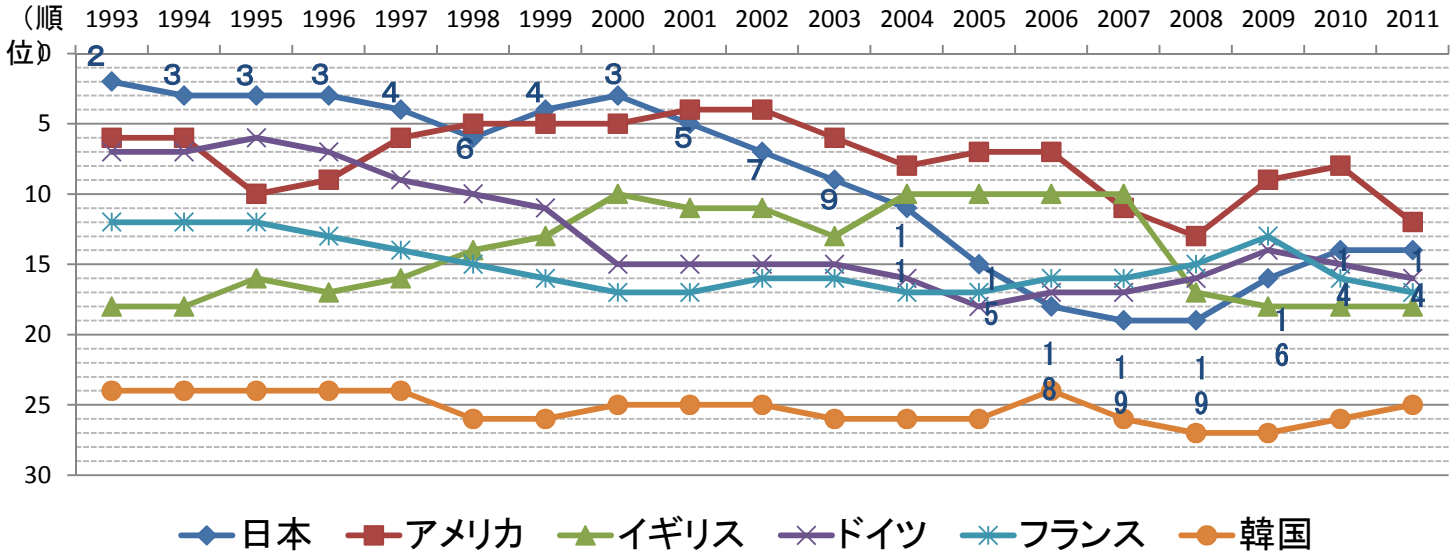


出典：International Monetary Fund, April 2011 World Economic Outlookより作成 （1ドル＝102円で換算）

●中国、インド等の新興国が台頭

・世界のGDPに占める日本の割合の低下
（2010年5.8%→2030年3.4%→2050年1.9%）
・日本の一人当たりGDP
世界第2位（1993） → 世界第14位（2011）

●一人当たり国内総生産（名目ＧＤＰ）の順位の推移

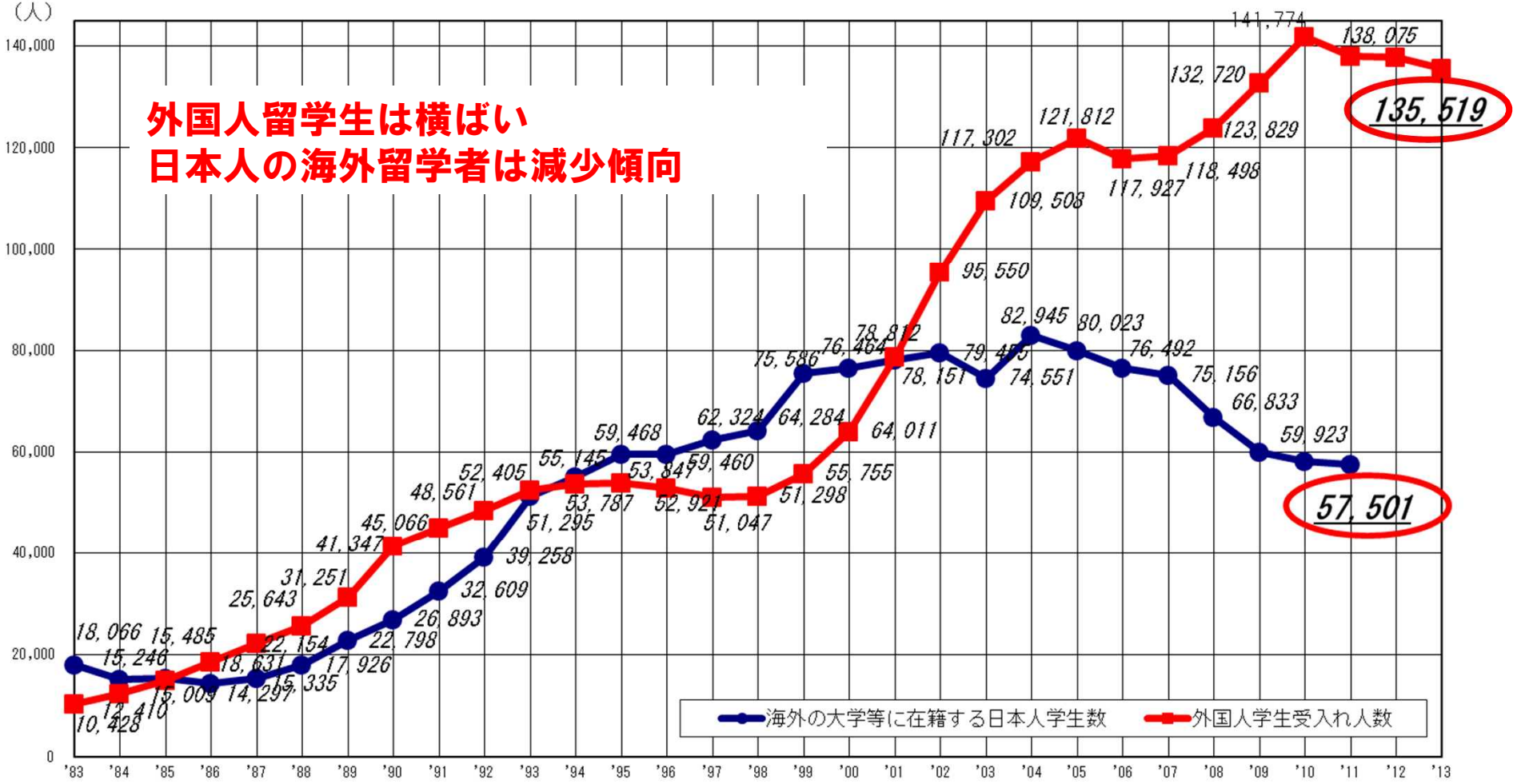


（出典）日本以外の国はOECD Annual National Accounts Database
日本は経済社会総合研究所推計値

海外留学生数の減少

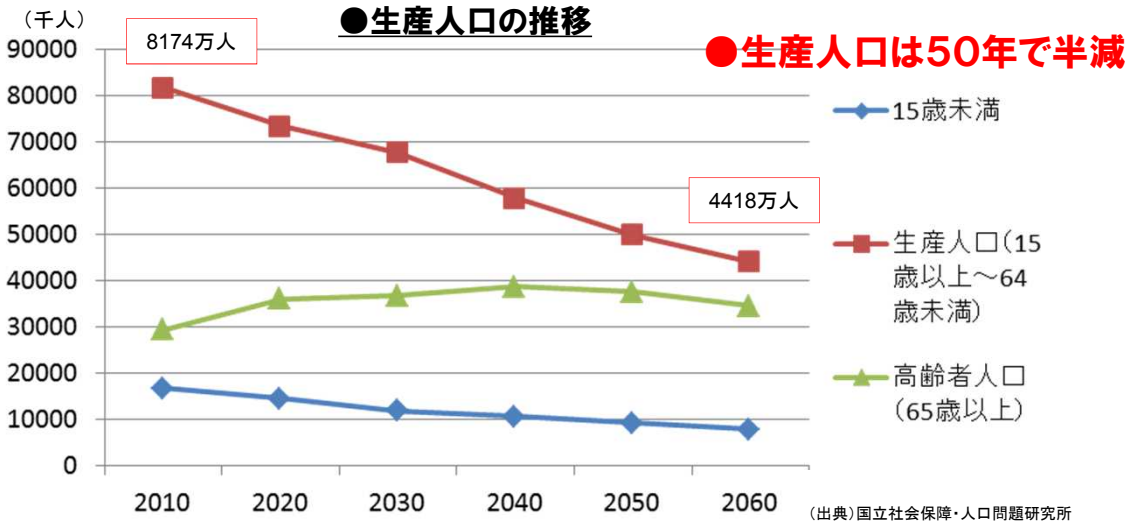
グローバル人材の育成が課題

●留学生数の推移



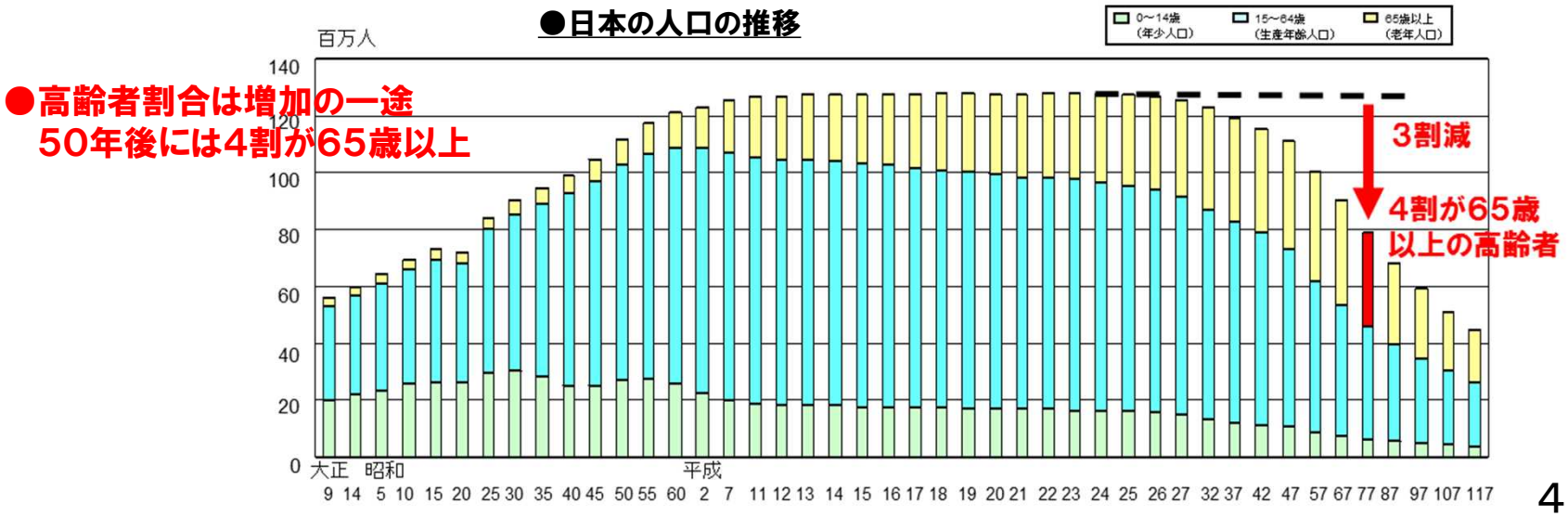
【出典】受入れ（各年5月1日現在）：文部科学省、日本学生支援機構調べ　派遣：OECD、IIE、ユネスコ文化統計年鑑等調べ

社会全体の活力の低下



（出典）国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

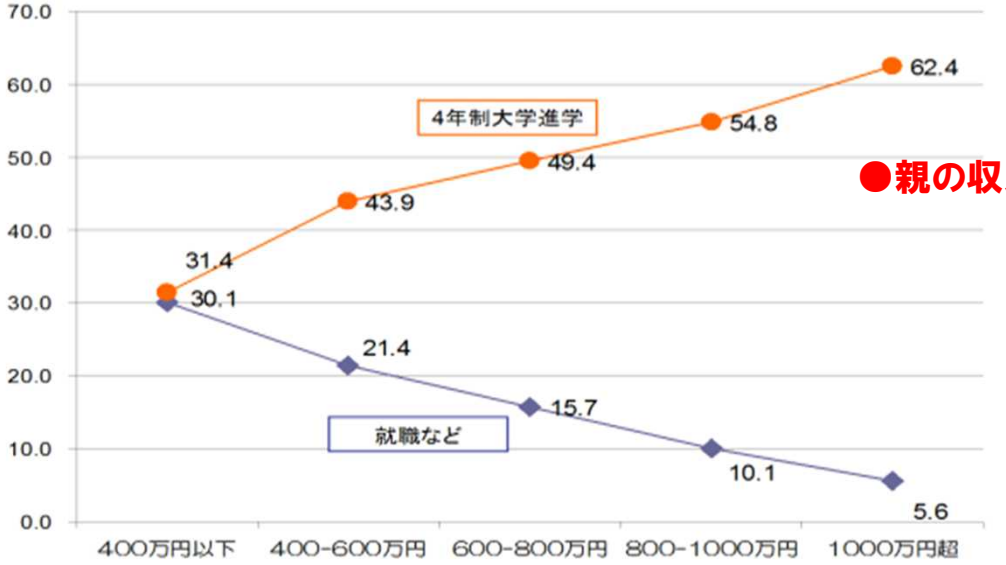
・日本の労働力率（2011） 59.6% （アメリカ 64.7%）



教育の家計負担の重さ

格差の固定化

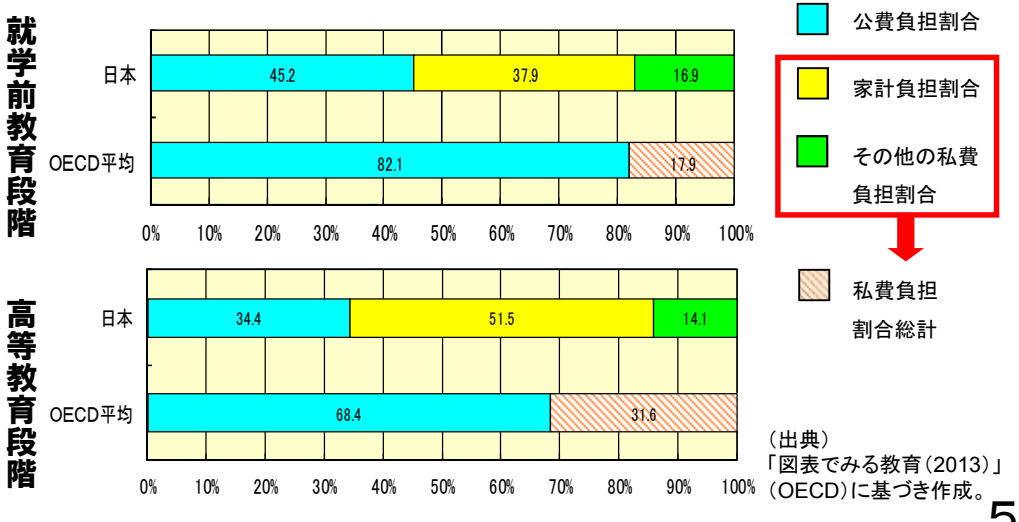
●親の収入別進学率



●親の収入と大学進学が関係

●就学前教育と高等教育で大きな私費負担

●教育費の公費私費負担割合



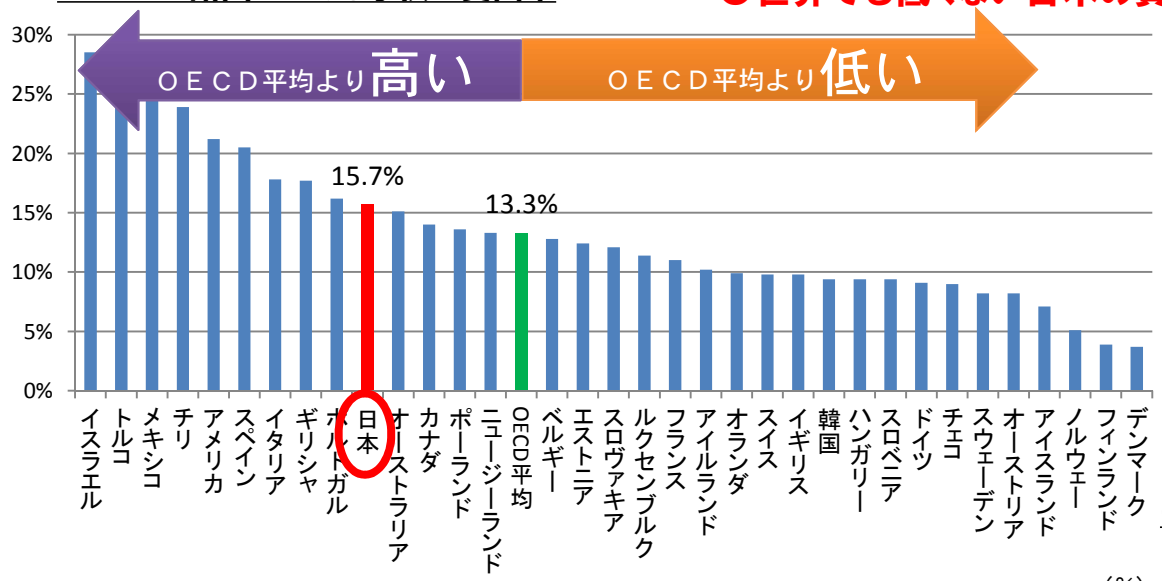
（出典）
「図表でみる教育（2013）」（OECD）に基づき作成。

子供の貧困率の上昇

社会の不安定化

●OECD諸国における子供の貧困率

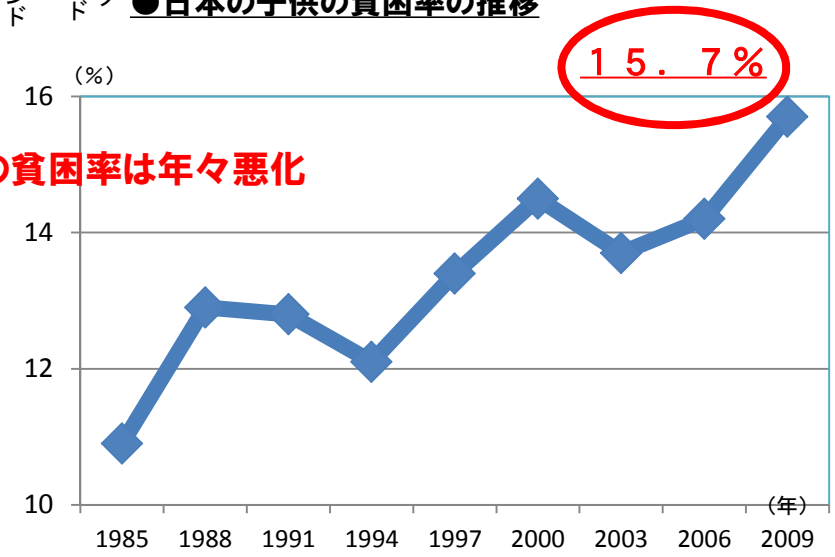
●世界でも低くない日本の貧困率



ＯＥＣＤ発表資料より（2014年）

●日本の子供の貧困率の推移

●日本の子供の貧困率は年々悪化

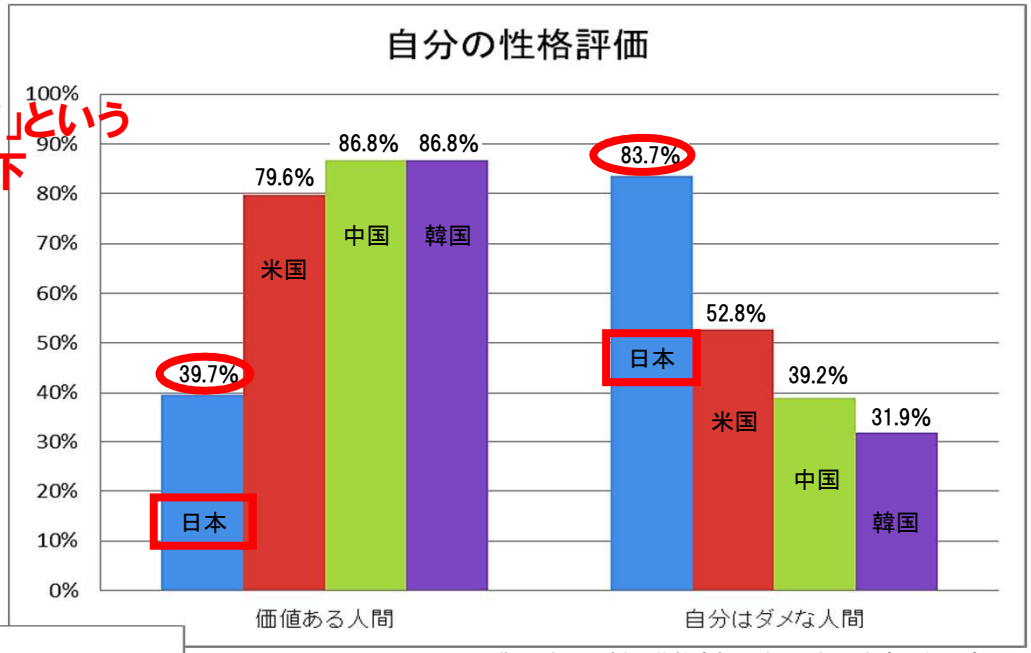


厚生労働省「平成24年グラフで見る世帯の状況（平成22年国民生活基礎調査の結果から）」
注：1）1994年の数値は、兵庫県を除いたものである。　2）貧困率は、ＯＥＣＤの作成基準に基づいて算出している。

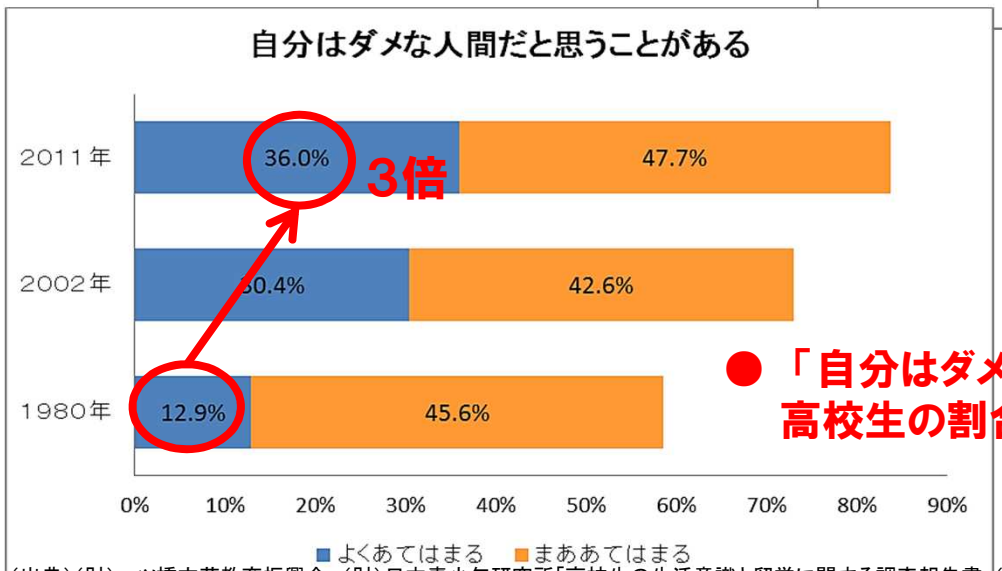
高校生の低い自己評価・将来不安

子供の自己肯定感の低さ

●日本の高校生は、「自分を価値ある人間だ」という自尊心を持っている割合が米中韓の半分以下



（出典）（財）一ツ橋文芸教育振興会、（財）日本青少年研究所「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書」（2012年4月）



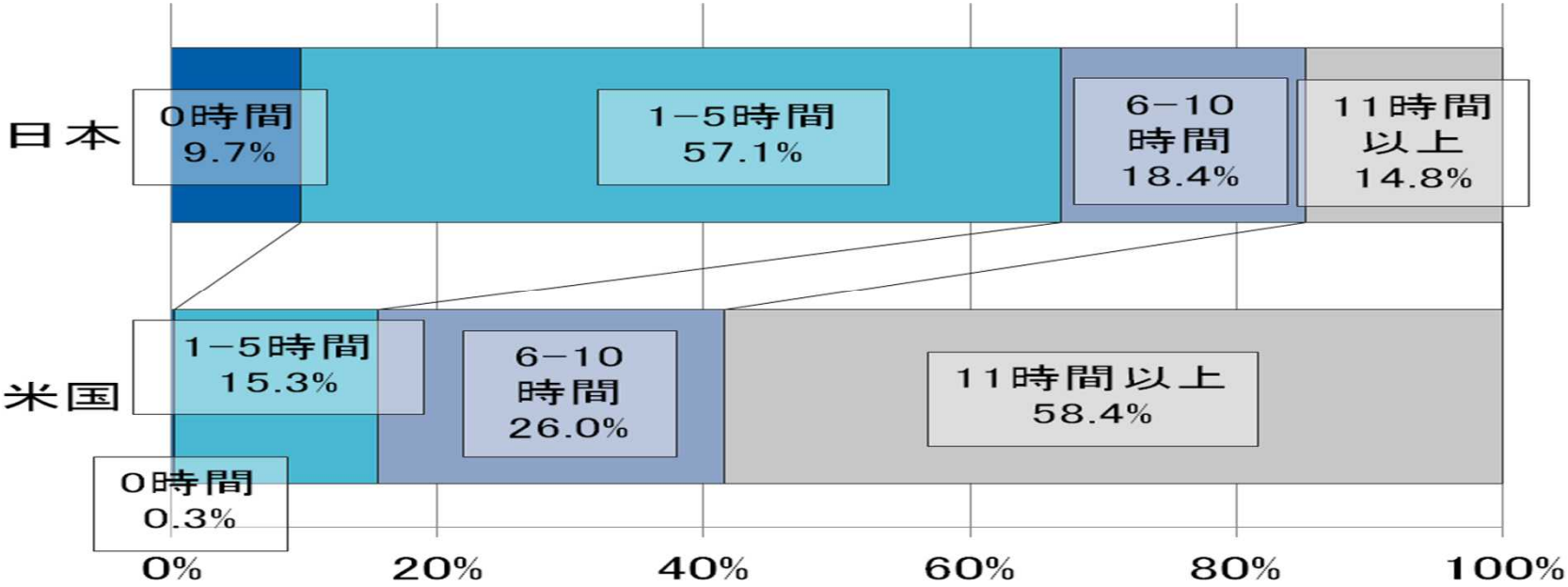
（出典）（財）一ツ橋文芸教育振興会、（財）日本青少年研究所「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書」（2012年4月）

● 「自分はダメな人間」を「よくあてはまる」と思う高校生の割合は1980年の3倍に

大学生の学修時間

学生の主体的な学びが不十分

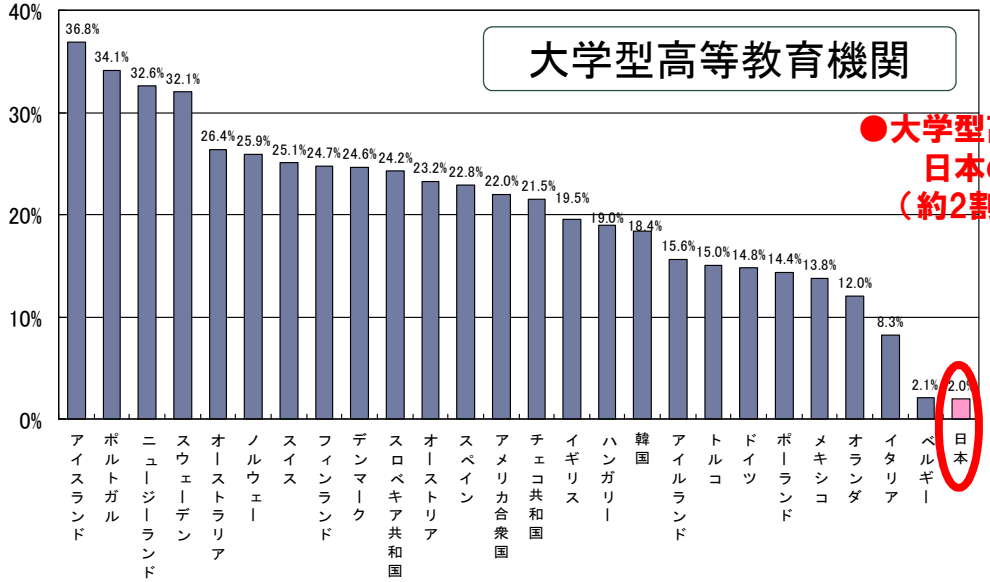
授業に関連する学修の時間（１週間当たり）
日米の大学の一年生の比較



出典：東京大学　大学経営政策研究センター（CRUMP）『全国大学生調査』2007年、サンプル数44、９０５人　http://ump.p.utokyo.ac.jp/crump/
NSSE（The National Survey of Student Engagement）

社会人の学び直し

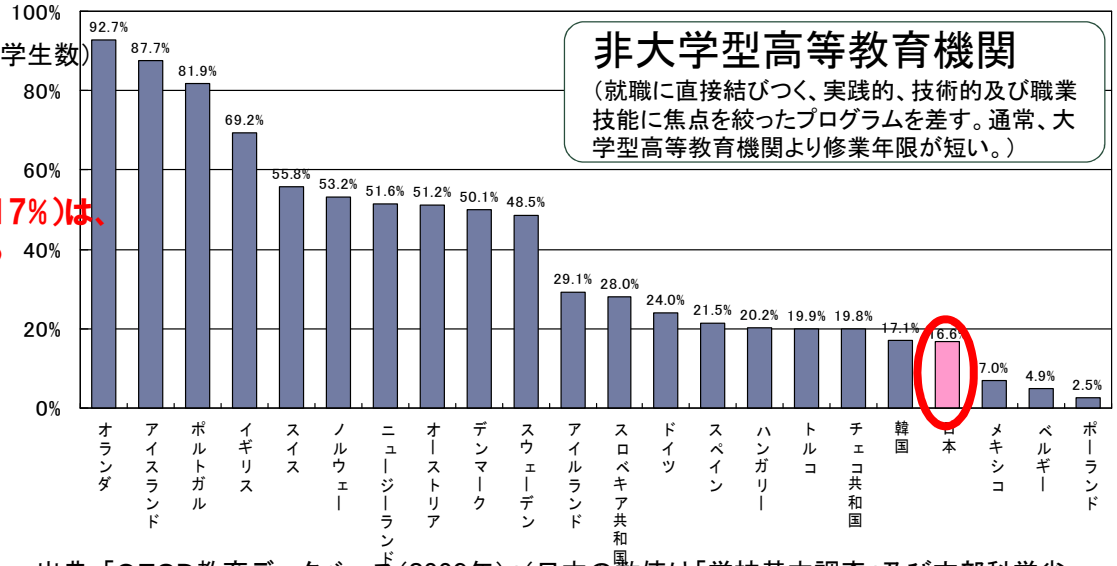
知識基盤社会への対応が困難



●大学型高等教育機関
日本の25歳以上の学生割合（2%）は、諸外国平均（約2割）を大きく下回る

出典：「OECD教育データベース2009年」
（日本の数値は「学校基本調査」と文部科学省調べによる社会人入学生数）

●非大学型高等教育機関
日本の25歳以上の学生割合（約17%）は、諸外国平均（約4割）を大きく下回る



出典：「OECD教育データベース（2009年）」（日本の数値は「学校基本調査」及び文部科学省調べによる社会人入学生数（短期大学及び専修学校（専門課程））